KWSA 2022 RECRUIT GUIDE

メッセージ

神奈川県内広域水道企業団では
時代の変化に柔軟に対応できる方を求めています！
企業団職員として働く意欲と熱意溢れる人の
ご応募お待ちしております！

特別な公務員試験対策不要!

- ●民間志望者も受験可能な試験を実施します。
- ●面接を充実し、人物面や企業団で働く意欲を重視した選考を行います。

※受験資格や日程等の詳細につきましては、HP及び受験案内をご覧ください。

過年度実施結果

年度	職種		① 第1次試験受験者数	② 最終合格者	倍率(①/②)
令和2年	Ⅰ種	行政	120	5	24.0
		土木	9	1	9.0
		建築	4	2	2.0
		設備	12	4	3.0
		水質	25	3	8.3
	Ⅲ種	建設	6	3	2.0
		設備	6	2	3.0
	合計		182	20	–
令和3年	Ⅰ種	行政	113	5	22.6
		土木	10	1	10.0
		建築	5	2	2.5
		設備	23	4	5.8
		水質	28	1	28.0
	Ⅲ種	建設	8	3	2.7
		設備	6	2	3.0
	合計		193	18	–

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団

〒241-8525 横浜市旭区矢指町1194
職員課 人事・労務係 採用担当 ☎045-363-3894(直通)
E-mail saiyo@kwsa.or.jp
平日／8:30～17:15(土日・祝日除く)

【採用情報ホームページ】
https://www.kwsa.or.jp/saiyo/shokuin_saiyo.html

KWSA

KANAGAWA WATER SUPPLY AUTHORITY

神奈川県内広域水道企業団

職員採用

公式ガイドブック

2022

KWSA RECRUIT GUIDE

神奈川県内広域水道企業団 採用関連

超決定版!

PROFILE はじめに

令和新時代の水道システム構築へ

神奈川県内広域水道企業団からのメッセージ

約50年前の神奈川県は、高度成長期の最中にあり、増大する水需要への対応が喫緊の課題となっていました。そのような社会情勢の中、神奈川県内広域水道企業団（以下、企業団）は、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の４構成団体が共同で新たな水源開発と効率的な施設運用を行うことなどを目的に昭和44年5月、水道用水供給事業を行う特別地方公共団体として設立されました。

現在、企業団では、構成団体を通じて約800万人の県民・市民の皆様に水道水を届けています。令和2年度の総供給水量は、構成団体の給水量全体の約50%にあたる、4億7,700万㎥、横浜スタジアムの約1,600杯分の水を県民・市民の皆様へ供給しています。

一方、近年では、人口減少や節水意識の浸透により水需要が減少してきています。また、浄水場などの施設は、老朽化に伴い大量更新期を迎えている中で、国内における自然災害が頻発化・激甚化、加えて新型コロナウイルス対策なども含めた水道を取り巻くリスクも多様化しています。

安全で安定した水供給を確保するため、まずはハード・ソフトの両面からこれらのリスクへの事前・事後の対策に取組み、さらには企業団と４構成団体が目指す「最適な水道システム」の実現に向けて時代の要請に合わせた業務の効率化や簡素化等にも取り組んでまいります。

「水道の基盤強化」は事業者の責務です。

これまで経験したことのない課題が山積していますが、企業団は構成団体とより緊密な連携を図り、令和新時代に相応しい水道システムを構築していく。そんな未来を企業団の職員として私たちと一緒に描いてみませんか。

求める人材像

神奈川県内広域水道企業団では最適な水道システム構築のため、意欲的に成長ができる人を求めています

- 様々な課題に対し、自らのすべきことを的確に把握し、解決のための努力ができる人
- 高い倫理観をもち、規律や礼儀を重んじた誠実な行動ができる人
- 他者の意見を正確に理解し、価値観の異なる意見に対して共感を持って受け入れることのできる人

かながわ広域水道ビジョン

企業団は、今から約50年前、当時の水需要の増大に対応するために構成団体により設立されました。以来、企業団は、広域的に整備された水道施設や酒匂川・相模川の2つの水源の効率的な運用により、安全で良質な水を安定的にお送りし、構成団体と連携して県民・市民の皆さんのくらしを支えてきました。

今後を見据えると、人口減少やインフラ施設老朽化、自然災害の頻発など、水道事業をとりまく環境は、これまでと異なった厳しい状況となっていきます。そのような中でも、安全な水の供給を絶やさず、県民・市民の皆さんのくらしを支え続けるため、企業団と構成団体は、これからの時代に相応しい「最適な水道システム」への進化を目指し、大きな一歩を踏み出しました。

広域水道である企業団は、この5水道事業者の垣根を超えた取組みにおいて、非常に大きな役割を担うことになります。企業団は、「最適な水道システム」の実現に向け、今後30年の取組みの方向性を「かながわ広域水道ビジョン」としてまとめ、令和3年度から新たな取組みがスタートしました。

県民・市民の“いのち・生活・産業・文化”を支える水道の未来を、私たちとともに築き上げていきましょう。

「最適な水道システム」の実現に向けた企業団と構成団体の挑戦

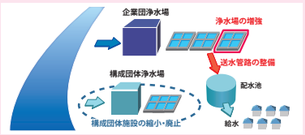
- 将来の人口に見合った適正規模
- 常に健全な状態が保たれた施設
- どのような状況でも安全・安定的な水供給
- 高効率で環境にも優しい

最適な水道システム

- コンパクトでより強靭な水道へ：水道施設の再構築
- エネルギー消費の少ない水道へ：上流からの優先取水
- 無駄なく効率的な水道へ：施設の一体的運用

今後30年の企業団の取組み

Ⅰ 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理



浄水場の増強と管路整備
再構築のイメージ

浄水処理と水質管理強化
水質管理の強化

Ⅱ 自然災害や多様なリスクへの対応強化

非常時に備えた発電設備の増強
新設の非常用発電設備

非常時における組織対応力の強化
横浜市水道局との合同応急給水訓練

Ⅲ 経営基盤の強化

多様な働き方への取組
在宅勤務の環境整備

職員の育成
職員研修の充実

INSTITUTION GUIDE 施設紹介

神奈川県内広域水道企業団の施設をご紹介します

1 全国トップレベルの事業規模 !!

企業団は、給水人口、施設能力ともに
全国トップレベルの水道用水供給事業体です。

2 ２つの河川の水で水道水を作っています！

神奈川県内で２つの河川から水道水の元となる
原水を取水できるのは企業団だけです！

3 神奈川県東部の水道水の約半分は企業団が作った水！

神奈川県東部の約半分の水道を作り、
構成団体を通じて各家庭に水道水を届けています。

4 給水量は全国３位！

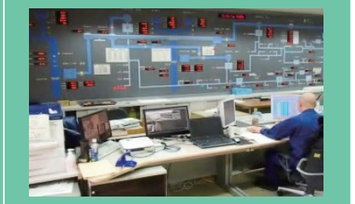
※水道用水供給事業体が対象

給水実績でも、全国屈指の水道用水供給事業体です!
（総務省令和元年度 地方公営企業年鑑より）

1 三ツ境本庁舎

企業団の事業計画、施設更新設計などを行っている

水運用センター



給水量等を調整する水道水の流通管理を行っている

2 西長沢浄水場

企業団最大規模の浄水場

3 綾瀬浄水場

企業団で最も新しい浄水場

4 社家取水管理事務所

相模川から取水している取水管理事務所

広域水質管理センター

水道水の品質管理や県全体の水源水質の管理を担っている

5 飯泉取水管理事務所

酒匂川から取水している取水管理事務所

6 伊勢原浄水場

大山のふもとに位置する浄水場

7 相模原浄水場

高架調整池が特徴的な浄水場

INTERVIEW 01 先輩インタビュー

よりよい水道水を届けるための土台となる 01 行政

企業団について県民・市民の皆様に理解を深めていただくための広報業務や構成団体から選出される議員１１人で構成される企業団議会の業務を担当しています。特に印象に残っている業務は、COVID-19の拡大で従来の広報ができない中、どうすれば魅力を発信できるのか模索し、小学生とのオンライン授業、浄水場の説明動画の作成に携わったことです。前例にない初めての業務で、多くの不安もありましたが、計画立案から実施まで携わったことで大変いい経験になりました。

私たち行政職は、水道水を作る工程に直接関わることはありません。ですが、水道水の製造に直接かかわる技術職がいて、それを支える行政職がいてこそ、水道水は皆さんのもとへ届けられています。「安心安全な水道水を作り、届け続ける」これを全職員一丸となって守っていくことこそが、企業団の使命であり、その一人として関わっていることに、やりがいを感じています。

「当たり前」「普通」を守ること

「蛇口から水が出る」この当たり前を私たちと一緒に守っていきましょう！皆さんの挑戦をお待ちしております！

成島 拓実
総務課
令和２年入団

普通では経験できない未知の世界が広がる仕事 02 土木

大森 寿莉
建設課
令和２年入団

今までに工事現場の立会いや、県、市、他の浄水場と設計段階から幾度も工事に関わる協議を経験しました。現在は、綾瀬浄水場調整池（２）耐震補強工事の監督、有馬給水井耐震補強工事の設計業務を任されています。特に工事の監督業務では、用水供給に影響が出るほど大きな工事のため、他部署との調整にはコミュニケーション能力が不可欠です。

企業団の仕事は、どこに配属になっても水道に関わるため、一貫した専門性を伸ばせます。加えて、県内のあらゆる場所に企業団の施設があるため、自分の知らない場所に行けたり、入ることのできない水道施設に入れたりすることが魅力です。また、休暇も取りやすい環境のため、ワークライフバランスを保って仕事をすることができます。

今後はいついかなる場面でも、土木に関することは「1」聞かれたときに「10」答えられる職員になるため、わからないことがあればすぐ調べ、メモをとり、日々精進しています。

楽しく学びながら働ける職場

わからないことは先輩方が丁寧に教えてくれます。ライフラインに関わることのできる職場で一緒に働きましょう。

山本 真悠乃
広域水質管理センター
令和３年入団

私たちが作った水が各家庭に届いている 03 水質

水質管理担当として、初めは水質分析において日々欠かせない一般項目の検査担当者に認定されました。現在では、かび臭測定に必要なガスクロマトグラフ質量分析装置や陰イオンを測定するイオンクロマトグラフ装置など、徐々に実施できる試験が増え、各種試験を担当しています。

また、水源調査のデータ化や新たなデータ解析方法の検討など、将来に関わる調査・研究も多く、とてもやりがいを感じています。

その他にも、水質検討部会などの会議に事務局として参加することは、水質分析を行っているだけでは触れることの少ない、将来の水質の在り方や、広域水質管理センターの業務など、「水質職」をより広い視野で把握する機会になり楽しかったです。

入団するまでは、「自宅の蛇口をひねったら水が出る」ということが当たり前と感じながら生活してきました。しかし、実際に企業団で働く中で、「水道」は多くの人や技術の上に成り立つものだと再認識できました。

一人で抱え込まなくても大丈夫

先輩方がとても優しく、分からないことはすぐに聞ける雰囲気です。私も尊敬する先輩のようになりたいです。

業務全てが安心安全な水道の維持に繋がる 04 設備

工事監督、浄水場の運転管理、設備の点検、配管修理やポンプの交換作業などの業務を行ってきました。現在は浄水場での浄水処理で発生した汚泥を減容化処理して搬出するための設備である、排水処理施設の能力増強に関する設計業務を行っています。

これまでで大変だったのは、浄水場の電気設備点検のために数百点の設備を停止する手順書の作成業務でした。誤った手順書で作業すると電気事故や、浄水場の水処理に影響が出るトラブルに繋がることから、何度も図面や現場を確認し、先輩方にもご協力頂いたことで不備の無い手順書を無事作成できました。

全ての業務が安心安全な水道事業の維持のために繋がる事がやりがいであり、最大の魅力です。浄水場などの運転管理といった技術職の業務だけでなく、財務や人事などの行政職の業務も、全てが水道事業の維持に繋がっているため、全職員が同じ志を持って業務をしている点も、当企業団の魅力であると感じます。

生涯をかけて取り組める職場

わからないことがあっても、一緒に考えてくれる先輩がいます。仕事と私生活の両立にぴったりな職場です！

渡邊 貴裕
電機課
平成30年 入団

INTERVIEW 02 課長・係長インタビュー

自分の得意分野を活かしながら、様々な知識や技術を学べる

設備職
廣井 孝充
電機課　課長
平成10年入団

課長を目指したきっかけ

企業団内での業務のほかに、諸外国の現地に赴き、途上国の水道事業の状況や日本の水道とは異なる浄水処理、施設管理のあり方を学んだこと、さらには国内の水道事業体においても企業団では常識であったことが、異なるということを知ったことで、企業団の業務のやり方や進め方を変え、少しずつでも改善したいと思い、課長を目指しました。

課長として大切にしていること

電機課では、機械や電気設備等の大型設備の更新工事を担当しています。
職員は、担当業務に関して真摯に取り組んでおり、その想いに答えるために稟議されてきた資料をしっかりチェックすることや、議論が活性化するような課内の雰囲気づくりを心掛けています。また今後は、官民連携の取り組みにもチャレンジしていきたいです。

自身のステイタスを高めるチャレンジを

企業団では神奈川の将来の水道を思い描きながら、安定供給を継続させるための適度な緊張感をもって責任ある仕事ができます。ぜひ皆様と一緒に働ける日をお待ちしています！

土木職
江端 克明
事業計画課 事業計画 係長
平成16年入団

県庁や市役所とは違う「広域的」・「企業的」な業務の面白さ

仕事のやりがい・魅力

企業団の仕事は、行政区域をまたぐ「広域的」な仕事であり、今後は、水道システムの再構築という非常に大きい事業を進めていくことになるため、県庁や市役所とは違った魅力のある仕事だと感じています。また、出かけた先でふと、「これ企業団の水なんだよな」と考えたときに企業団は県民の皆さんの生活を陰ながら支えていると実感し、「頑張ろう」と思えます。

係長として大切にしていること

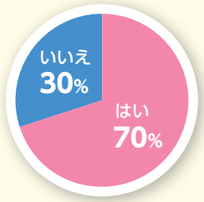
将来の水道施設をどのように再構築するか、という答えの無い長期間に及ぶ複雑な検討を行う係なので、できるだけ係の職員の力や知恵を引き出して集約し、将来の成果につなげていけるよう、単発的に「何をやるか」ということよりも、先を見通しながら「職員にどの段階でどのように業務を進めてもらうか」ということを意識しています。

これからは未知の課題に立ち向かっていく

「人口減少に水道システムを適合させる」というチャレンジングな仕事はなかなかないと思います。この歴史に残る仕事に皆さんと一緒に取り組めることを楽しみにしています！

VOICE 若手職員の声

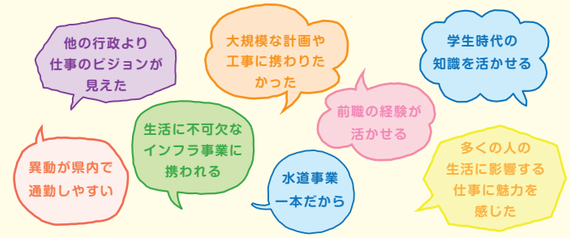
01 神奈川県出身ですか？



「いいえ」と答えた方にお聞きします。
神奈川県にどんなゆかりがありましたか

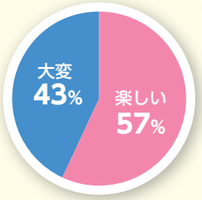
- 親戚等が住んでいる 25%
- 通勤・通学していた 38%
- 興味があった 18.5%
- ゆかりはない 18.5%

02 企業団に入団した決め手はなんですか？



03 どのような目標をもって企業団に入団しましたか

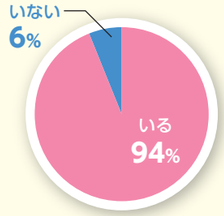
04 仕事は楽しいですか



楽しいの理由
- 自分の工事で新設・修理したものが稼働しているとうれしい
- 意見を反映してもらえる機会が多い
- 取り扱う設備や分野が多様で新しい知識を習得できる
- 施設が多くあり、特徴を覚えたりするのが楽しい

大変の理由
- 地方公共団体で事業規模が大きいため、責任が大きい
- 計画と実現への手段とのすり合わせが難しい
- 水を扱う仕事なので、水質基準や管理基準などが厳しい
- 仕事内容が幅広いため、覚えるのが大変

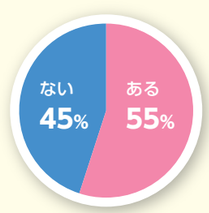
05 企業団内に尊敬できる職員はいますか



その職員のどんな所が尊敬できますか

- 問題だと思ったら改善策を考え、実行している
- 様々なことにアンテナを張っている
- オン・オフのメリハリのつけ方
- 幅広い知識を持っている
- 現場での対応が迅速かつ正確
- 自分の仕事に信念を持っている
- 相談に真摯に対応してくれる

06 入団前と入団後で感じたギャップはありますか



「ある」と答えた方にお聞きします。
どのようなギャップがありましたか？

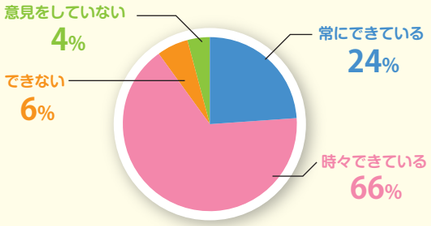
- 思っていたより職場の雰囲気が堅苦しくない
- 専門分野以外の仕事もある
- アクティブな人が多い
- 民間企業の力を借りることが多い
- 現場作業が多いと思っていたが、事務作業が多かった
- にぎやかに仕事をしている

07 有給休暇は取りやすいですか

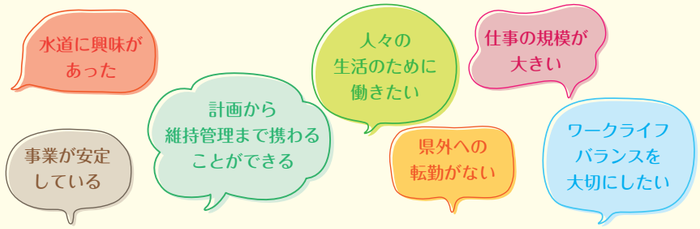
休日はどのように過ごしますか

スポーツ	楽器の演奏	ヨーヨーの練習
筋トレ	パン屋巡り	愛犬とまったり
旅行	ハンモックヨガ	寝ている
家族との時間	献血	

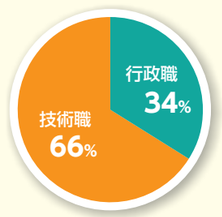
08 仕事で自分の意見を反映できますか



09 民間企業ではなく公務員を選んだ理由はなんですか（技術職のみ）



10 回答者 53 名（対象者：入団1～5年目）



SUPPORT サポート体制

研修制度

自らの能力を最大限に発揮することができ、より高い能力と意欲を持った職員を育成するため、研修制度の充実を図っています。

企業団研修	企業団職員として働いていく上で必要な知識・技術・技能の向上を目的として実施しています。経験年数で区分された階層や能力に応じた人材育成を行っています。	・企業団研究発表会 ・職員提案型調査出張 ・新規採用職員研修 ・人事評価者研修　等
部課研修	各所属の実務に直結する専門的知識・技術等に関する研修を実施しています。講義・グループワーク・実技演習を通して、課題解決力や危機対応力の向上、業務知識の共有等を図ります。	・電気取扱業務に係る特別教育 ・情報セキュリティー研修 ・交通法令講習会 ・メンタルヘルス研修　等
派遣研修	外部の研修機関に派遣し、より高度な専門知識及び実務遂行能力の向上を目的として実施しています。職員が業務内容や自分の能力に合わせて受講できるよう、幅広く多様な研修の計画をしています。	【主な派遣先】 ・(公社)日本水道協会 ・市町村研修センター ・国立保健医療科学院　等
職場研修(OJT)	上司・先輩が部下・後輩に対し、業務を通じて又は業務に関連させながら、職務を遂行していく上で必要な知識や技術を計画的に指導しています。職場研修を活用し、技術やノウハウの継承を図っています。	
資格取得支援	業務に係る資格取得ための講習会参加や受験支援を行っています。	・第3種電気主任技術者 ・電気工事士 ・酸欠・硫化水素危険作業主任者 ・エネルギー管理員　等

福利厚生

令和3年4月1日現在

公舎
県外採用者向けの独身用公舎(賃貸)があります

レク活動等
職員向け(互助会イベント)や野球大会等の実施

健康管理のために
人間ドック・整体・マッサージの費用補助

いざというときに備えて
傷害・年金・自動車・医療・火災保険等

資金が必要なとき
住宅貸付、入学貸付、普通貸付等

余暇を利用して
映画・旅行・レジャーチケット等の購入補助

育児支援制度

出産休暇	産前休暇、産後休暇を合わせて16週以内の必要な日数の休暇を取得することができます。
育児参加休暇	妻の出産の産前8週及び産後8週の期間内に、男性職員が当該出産にかかる子又は小学校就学の始期に達するまでの子の監護をする場合、5日以内の休暇を取得することができます。
育児休暇	職員が生後1年5ヶ月に達しない子を育てる場合、1日2回それぞれ45分、又は1日90分の休暇を取得することができます。
育児休業・部分休業	職員が3歳に満たない子を養育する場合、休業をすることができます。また、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、始業・終業時刻に接する1日2時間以内の時間を休業することができます。
子の看護休暇	中学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員が、その子の看護のために年5日程度の休暇を取得することができます。(対象となる子が2人以上の場合は年10日以内)

利用実績
(令和2年度)

育児休業
取得率 20%
※取得率＝取得者/対象者

子の看護休暇
申請者の平均取得日数
2.0日

※その他にも、妻の出産に係る特別休暇や、育児短時間勤務といった制度もあります。

DATA IN KWSA データで見る神奈川県内広域水道企業団

01 平均時間外勤務

9.6H

※令和2年度

02 男女割合

87.4%　12.6%

※令和3年度4月1日時点

03 休暇取得率

年次有給休暇 14.8日
夏期休暇 4.9日

※令和2年度

04 職員数

358人

※令和3年度4月1日時点・特別職、会計年度任用職員を除く

05 初任給(基本給+地域手当)

Ⅰ種 212,287円
Ⅲ種 174,262円

※令和3年度4月1日時点
※職務経歴等により加算されます

06 平均年齢

42.2歳

※令和3年度4月1日時点、再任用短時間職員を除く

07 職種別職員数

行政職	81人	設備職	182人
土木職	42人	水質職	42人
建築職	11人		

※令和3年度4月1日時点・特別職、会計年度任用職員を除く

08 管理職女性の割合

4.3%

※令和3年度4月1日時点

09 年代別平均給与(年収ベース)

令和3年度4月1日時点・基本給+地域手当+期末勤勉手当

20代以下	3,830,000円
30代	5,080,000円
40代	6,700,000円
50代	7,480,000円

※上記の他、職員の家族の状況や勤務形態により、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当等の諸手当が支給されます。
※昇給:年1回 期末勤勉手当:年2回、6月2.15月分・12月2.15月分

10 職員居住地

1位	横浜市	31%
2位	相模原市	10%
3位	川崎市	8%
県外	東京	6%

※令和3年度4月1日時点